

【 東大和市 リアルタイム事務事業評価調書①
子どもショートステイ 事業 】 記入日 令和 5 年 10 月 16 日

基 本 情 報 (A・B)

A) 施策、根拠法令等

担当部署	部	子ども未来部	課	子ども家庭支援センター	係	総合相談係			
基本施策	1 子どもたちの笑顔があふれるまちづくり				事業種別		補助・助成を受けている業務		
					継続・新規		継続して実施している事業		
分野別施策	施策1 - 1 子育て支援【重要施策】						事業予算額		
	-						3,473 千円		
展開方向	☒ 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり				予算科目	会計		一般会計	
	☐ 子どもたちの成長と発達を支援する環境づくり					款	3	民生費	
	☐ 支援や配慮を必要とする子どもたちを支える環境づくり					項	2	児童福祉費	
根拠法令等 (あれば)	児童福祉法、児童福祉法施行規則、東大和市子どもショートステイ事業実施要綱				目	4	子育て支援費		
						事業番号		4	

B) 事業内容・対象

市の魅力向上に寄与する事業		人口減少抑制に寄与する事業		○
事業概要 (何をやる事業か)	保護者の病気、出産等により一時的に児童の養育・保育が困難なとき、保護者に代わって市内の養育家庭又は児童養護施設で宿泊により児童を保護する事業			
事業の対象	保護者の病気、出産等により、一時的に養育が困難になった児童（満2歳～12歳）。			

現年度(令和5年度)に実施中の事業について(C・D・E・F)

C) 目標・目指す状態

※市民意識調査の結果を目標値にはできません(施策評価の目標であるため)。

※「〇〇意識を高める」「理解を深める」等といった成果が測れないものは不可とします。必ず効果が数値化できる目標にしてください。

目標・目指す状態		単位	目標数値
①	保護者が病気、出産等により一時的に児童の養育・保育が困難なとき、安心して預けることのできる児童数(東大和市子ども・子育て未来プラン中間見直しの目標値)(年間延べ利用者数)	人	42
②			
③			

D) 前年度と変更した点がありますか?

※事業の実施を経て、見直し、解決すべきだと考えたことを元に変更した点

☒ 有	変更した点→	施設型ショートステイの利用定員を1人から2人に拡大する。
☐ 無	無の理由→	

E) 見直し状況

※変更(見直し)については、どの程度進んでいますか

令和5年4月から施設型ショートステイの利用定員を1人から2人に拡大している。

F) 令和5年度中の進捗状況(予定含む)

※進捗状況はなるべく時系列に沿って記入してください。

①	施設型ショートステイの実施にあたり、利用定員を原則1日当たり2人として委託先施設と契約を締結する。
②	市報に年2回(4月1日号、11月15日号)子どもショートステイの案内をして、適宜、相談を受ける。
③	4月に兄弟の利用相談があり、初めて施設型ショートステイの定員枠2人を活用したサービスを提供する。
④	サービス利用の流れは次のとおり行う。①相談、②利用申請、③事前顔合わせ、④利用決定、⑤利用料支払い、⑥利用
⑤	【以下、実績及び今後の課題や取組等】
⑥	5月以降も複数家庭においてきょうだい利用の相談があり、結果的に毎月、定員枠2人を活用したサービス提供につながっている。
⑦	令和5年10月11日時点の利用人数はすでに延70人で、そのうち定員枠2人を利用したのは延54人になっている。
⑧	令和5年度の予算について、今後の利用状況によっては、補正予算計上の検討が必要である。
⑨	令和6年度当初予算での拡充(レベルアップ)予定はない。今後、利用状況の推移を見守り、必要に応じて検討していく。
⑩	今後、施設型ショートステイの拡充(定員枠)を図る場合、施設における部屋の確保や人員体制等、多くの調整を要するため、適宜、施設と連携を図っていく。
⑪	
⑫	

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書②

【 子どもショートステイ 事業 】 記入日 令和 6 年 3 月 29 日

実績報告・事業分析

A) リアタイ評価会議での意見・助言等

- ① 現状を維持し事業を行ってほしい。年度ごとに実績を確認・分析し、バランスよく事業を進めてもらいたい。
- ②
- ③
- ④
- ⑤

B) 上記意見を受けて、対応したもの 及び 参考としたもの

令和5年度の利用実績が伸びていることを踏まえ、令和6年度に向けて予算の増額を図った。

C) R5年度の実績（事業の実績を示す数値 又は 事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可とします。

実績の説明	単位	目標値	R5実績値	【参考】R4実績値
① 利用した児童数（延べ人数）	人	42	130	52
②				
③				

数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由を記載してください）

数値結果がない
理 由

- R5実績は
去年と比べて
- ☒ 向上した
☐ 例年通り
☐ 低下した
☐ その他
- 左記とした理由 又は 分析等（向上・低下した要因等）：
きょうだい利用と延利用人数が大幅に増加した。

D) 分析（令和5年度の実績を踏まえて）

↓該当する1つに○をつけてください↓

- ①この事業の有効性は
費用対効果（コスパ）、執行体制の状況、手法として最適か 等
- 高かった 普通だった 低かった

①の理由：ショートステイ先として、専門性のある児童養護施設と家庭的な環境にある養育協力家庭に委託し、利用者が預け先を選択できることは、子育て家庭が安心して利用することに寄与している。

- ②この事業に対する市民のニーズ、反応は
市民の反応等を踏まえて回答してください。
- 高かった（良かった） 普通であった 低かった

②の説明：子育てにおけるリフレッシュの機会になっており、継続的な利用に繋がっている。

- ③この事業における市民協働・共創の余地は
※「市民協働」及び「共創」については別紙1をご確認ください。
- 多くの余地がある 余地がある ○ 余地がない

③の説明：法律に基づく事業であるため、市民協働・共創の余地がない。

- ④この事業が今後市の類似事業と統合・再構築できるか
※市で行っている類似の事業がある場合のみ回答
- 可能である 検討の余地がある ○ 不可能である

④の説明：類似の事業はない。

- ⑤近隣市の類似事業と比較して充実している事業か
※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答
- 他市より充実している ○ 他市と同程度 他市の方が充実

⑤の説明：他市とは、対象年齢や利用料金等、多少の違いはあるものの、ほぼ同程度の事業になっている。

- ⑥東大和市独自の個性を出している事業か
- 市の特長、個性を出せる事業である 他市と同程度 個性はない

⑥の説明：ショートステイ先について、施設及び養育協力家庭から選べることは、他市に例が少なく、当市の特徴になっている。

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書③

【 子どもショートステイ 事業 】 記入日 令和 6 年 3 月 29 日

反省・今後の方向性

A) 来年度以降の課題や見直すべき点		※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。
①	必要としている子育て家庭の利用を促進するため、広報等による周知に努める。	
②		
③		
④		
⑤		

B) 来年（令和6年度）の取組予定		※事務予定または、改善事項を記入してください。
①	現状を維持し事業を行っていく。年度における実績を確認・分析し、適切な事業運営に努める。	
②	委託先との連携を図り、利用者が安心して利用できるようにしていく。	
③		
④		
⑤		

C) 上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等		※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。
①	令和6年度の事業実施に向けて、施設及び養育協力家庭と委託契約を締結する。	
②	令和6年度の利用実績を踏まえ、令和7年度に向けて事業内容を検討していく。	
③		
④		
⑤		

事業コスト (6 年 3 月 29 日 時点)

予算科目	款	3	事業番号	4	予算名称	子どもショートステイ事業費
	項目	2				
		4				

R5予算額及び決算額

※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。

単位：円

R5予算額		R5決算額(暫定)		【参考】R4決算額	
事業費合計	3,473,000	事業費合計	3,355,490	事業費合計	1,668,440
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
11 役務費	39,000	11 役務費	22,490	11 役務費	24,440
12 委託費	3,434,000	12 委託費	3,333,000	12 委託費	1,644,000
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	1,294,000	一般		一般	398,940
国	528,000	国		国	97,000
都	1,543,000	都		都	1,063,000
市債		市債		市債	
その他	108,000	その他	204,000	その他	109,500